

評価項目	評価基準	評価の着目点	点数
1. 業務の実施方針【10点】			
① 業務の理解度、業務実施方針の妥当性 (10点)	■業務の目的や内容、現地の状況などを踏まえた実施方針となっているか。	■本業務の目的である「まち全体の新たな賑わい創出」や「本プロジェクトの認知度向上や理解促進」を理解した内容か。	10
2. 企画提案内容【75点】			
① プレイベントのイベント内容及び地元事業者等との連携体制 (30点)	■『緑地×水辺×まち』を活用し、回遊性向上に資する提案内容となっているか。	■甲突川河畔と中央駅・天文館等を結ぶ具体的な回遊策が提案されているか。 ■来場者が周辺エリアを周遊したくなる仕掛けがあるか。	5
	■地元事業者等との連携体制は具体的となっているか。	■多くの事業者等と連携した内容となっているか。 ■連携事業者が具体的に想定されているか。 ■事業者との役割分担や連携内容が明確か。	5
	■プロジェクトの認知度向上や理解促進が図られる内容となっているか。	■本プロジェクトの目的や取組内容が効果的に発信される内容か。 ■来場者の理解や関心を高める工夫があるか。	5
	■まち全体の新たなにぎわい創出に資する内容となっているか。	■地元事業者や地域団体等の参画により、まち全体の活性化や盛り上がりが見込める内容か。	5
	■メインイベントへの誘客につながる要素が盛り込まれているか。	■来場のきっかけとなるような魅力的な企画が提案されているか。	5
	■独創性があり、かつ実現性のある内容となっているか。	■提案された内容が独創性のあるものとなっているか。 ■実施手法が具体的に示されており、事業規模や予算等を踏まえ、確実な実施が見込める内容となっているか。	5
② メインイベントのイベント内容 (35点)	■プロジェクトの認知度向上や理解促進が図られる内容となっているか。	■本プロジェクトの目的や取組内容が効果的に発信される内容か ■来場者の理解や関心を高める工夫があるか。	5
	■甲突川河畔の魅力発信や更なるにぎわいの創出につながる内容となっているか。	■甲突川河畔の魅力を理解した内容となっているか。 ■利用者・来訪者の増につながる内容か。	5
	■仕様書に記載されている要素が盛り込まれた内容になっているか。	【仕様書に記載している要素】 ■こどもから大人まで幅広い世代が楽しめる催し ■桜をテーマとした体験型コンテンツの催し ■昼夜問わず集客が見込める催し ■同時期に甲突川河畔で開催されるイベント等と連携し、甲突川河畔の滞在促進や周遊を促す催し ■西郷隆盛生誕200年・没後150年記念プロジェクトの趣旨に沿った催し	15
	■独創性があり、かつ実現性のある内容となっているか。	■提案された内容が独創性のあるものとなっているか。 ■実施手法が具体的に示されており、事業規模や予算等を踏まえ、確実な実施が見込める内容となっているか。	10
③ プレイベントおよびメインイベントの広報戦略 (10点)	■本市が行う広報と比較し、より効果的な広報手段となっているか。	■市が行う広報（予定） チラシ・ポスターの配布、市広報誌・HP・SNSへの掲載。 ■市で行う広報と比較し、より多くの方に周知できる効果的な広報手段か。	5
	■市内外に向けた広報手段となっているか。	■市内だけではなく、市外に向けた広報手段も含まれているか。	5
3. 業務遂行能力【25点】			
① 業務遂行体制 (15点)	■具体的な実施体制となっているか。	■具体的な役割分担等が明記されているか。	5
	■統括責任者の実績は適切であるか。	■他のイベントを統括した経験のあるスタッフとなっているか。	5
	■業務ごとの責任者の実績は適切であるか。	■他のイベントで責任者を務めた経験があるスタッフとなっているか。 ■類似イベントを行った経験があるスタッフとなっているか。	5
② 業務実施スケジュール (10点)	■業務実施スケジュールは、具体的な内容が記載されているか。	■各業務の実施時期や内容が明確であるか。 ■事業者等との調整期間を十分に考慮した内容となっているか。	5
	■業務実施スケジュールは、確実にイベントを開催できるスケジュールになっているか。	■無理なスケジュール設定となっていないか。 ■業務を円滑かつ確実に遂行できるスケジュールとなっているか。	5